

世界史 授業 No.103 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

ウィーン体制を崩し始めたヨーロッパ内外の事件とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 163、171）の中から見つけよう！

1821年、ギリシアが（ 1 ）に対し独立戦争をおこした。このときイギリス・ロシア・フランスがバルカンと東地中海地域に対する利害からギリシアを支援したので、29年にギリシアは独立を達成した。

18世紀末よりカリブ海のフランス領イスパニョーラ島西部で独立運動がはじまり、1804年に黒人共和国（ 2 ）が独立した。（2）では独立と同時に黒人奴隷制が廃止された。その影響をうけてイギリスは奴隷貿易を、さらにのち植民地での奴隷制を廃止した。また当時黒人奴隷制を維持していたアメリカ合衆国やブラジルなどにも、大きな衝撃をあたえた。

大陸部のメキシコ以南の植民地では、1810～20年代にかけて多くの国が独立した。これらの独立は、ナポレオン戦争の影響で（ 3 ）の支配力が弱まったことをきっかけに、シモン＝ボリバルらを指導者として達成された。その背景には、工業製品の（ 4 ）をねらうイギリスや、1823年にアメリカ大陸とヨーロッパとの（ 5 ）をとなえる（ 6 ）を発表したアメリカ合衆国が、諸国の独立を支持したことも影響していた。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ウィーン体制を崩し始めたヨーロッパ内外の事件とは？」

T. A.

ヨーロッパ外ではラテンアメリカ植民地の独立運動が起こった。植民地生まれの白人（クリオーリョ）である[①]がアルゼンチンなどを、[②]がボリビアなどをリーダーとして独立させた。内ではギリシア独立戦争が起こり、英・仏・[③]の支援を得て成功。ロマン主義アーティストの[④](仏。画家)や[⑤](英。作家)が国際世論をトルコからの独立支持に向けた。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []